

担い手等との意見交換概要（平成 29 年度）

公益財団法人長野県農業開発公社
長野県農地中間管理機構

1 実施状況

(1) 農業法人（10回）

4月27日、5月22日、7月26日、9月28日、10月13日、11月17日、11月30日、12月19日、1月18日、3月16日

(2) 指導農業士・農業経営士（1回）

12月13日

(3) 農業者等（31回）

ア 事業推進に係る意見交換（キャラバン活動 19回）

4月25日（2会場）、6月16日、7月27日、8月4日、9月4日、9月5日、9月8日（2会場）、9月12日（3会場）、9月15日、10月24日（2会場）、10月25日（2会場）、10月26日、11月13日

イ 樹園地の集積に係る意見交換（8回）

12月14日（2会場）、12月19日（2会場）、12月26日（2会場）、3月6日（2会場）

ウ 機構関連農地整備事業の推進に係る意見交換（4回）

11月28日、12月20日、12月22日、12月27日

2 担い手等の主な意見

- ・権利期間中の賃料の変更手続きを簡素化して欲しい。
- ・今後は、未整備農地の貸付希望が多くなるが、受け手に取っては使い難い。農地整備を進めないと管理できない農地が増加する。関連農地整備事業を進めて担い手に集積するため現地での説明会開催を希望する。
- ・担い手が機構から長期間農地を借りた後、農地の所有者がどのようになっているかが心配。地主が不在になっていることもある。
- ・農地中間管理事業についての理解と取組みが遅れている JA 支所がまだある。実務者への説明を増やして欲しい。
- ・機構関連農地整備事業を活用したいので、具体的な手続きを教えて欲しい。
- ・行政の広報媒体を活用して農地中間管理事業のPRを積極的に行って欲しいし、農家が訪れる資材販売店等に農地相談窓口を設置して欲しい。
- ・JAが本腰を入れれば農地中間管理事業は進むと思う。農地集積円滑化事業からの切替などJAの協力とJAを巻き込み一体となって農地中間管理事業に取り組んで欲しい。